

平成31年・令和元年度

家庭学習のてびき

進んで学ぶ子どもを育てるために

山形市立本沢小学校 学習指導部

家庭学習による教育的効果

◇家庭学習を継続することによって、次のような教育的効果が期待できます。

はじめに

家庭学習とは、家庭でする学習のことで、宿題と自主学習があります。

- ①宿題・・・学校から出された課題で、「読む」「書く」「計算する」などの基礎学力を定着させることを目的とした学習
- ②自主学習・・・自分で学習したい課題を見つけ、それを深く調べていく学習

(1) 学習内容の定着化

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。また、予習をすることも大切です。予習は、授業を分かりやすくします。特に、漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。学校で「わかった」ことが、反復練習によって「できる」という自信に変わります。

(2) 脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、「脳の活性化」につながると言われています。文章を読むときも、黙読より音読の方が脳が活性化するそうです。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に働くようになります。鍛えれば鍛えるほど発達し、脳がいろいろなことにうまく使えるようになります。小学生のうちから、どんどん脳を鍛えましょう。

(3) 学習の習慣化

毎日、一定時間、決まった場所で家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。毎日続けることで、やがて、当たり前前の習慣になり、子どもたちの「学ぶ力」を育てるという大きな力につながります。低学年のうちから、「毎日欠かさず、決まった場所」で、家庭学習をする習慣を続けていきましょう。

(4) 忍耐力・根気・集中力の強化

家庭学習の最大の敵は、テレビやゲームなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、我慢強さ、根気、集中力を養うことができます。テレビやゲームの時間を決めて、学習や読書等の時間をしっかりと確保したいものです。そのためには、「テレビを消す」「みんなで読書をする」といった家族の協力が必要なのは、言うまでもありません。

(5) 家族のふれあいを拡大

低学年のうちから、「本を読んでいる時、横で聞いてあげる」「勉強がわからない時、教えたり調べたりしてあげる」など、学習をしている子どもに親が関わることによりコミュニケーションが図れます。家族のふれあいの機会が増えることは、やがてくる思春期の子どもたちとの対応にも影響し、親として適切なアドバイスも可能になり、心身ともに健やかな子どもの成長につながります。

まずは、安心・集中して学べる環境作りを・・・

◇学ぶ環境作りとして、次のようなことを心がけましょう。

その1 生活のリズムを整えましょう！

- ①「早寝・早起き・朝ごはん」や「朝の排便」など、規則正しい生活を送る。
- ②睡眠時間を十分にとり、食事に気を配る。(睡眠時間：8～10時間)
- ③テレビやゲームの時間などのきまりを作り、約束事を守らせる。

その2 学ぶ雰囲気をつくりましょう！

- ①学習の場所は、学習机でも食卓でもよいですが、静かで集中できるところで行う。(テレビを消して集中させる)
- ②身の回りの整理整頓をする。(机の上は、学習に使うものだけを出す)
- ③学習時間を決めて、行うようにする。(学習時間は、とにかく集中する)
- ④読書の時間を決めて、続けるようにする。
(低学年では、一緒に読んだり、音読を聞いてあげたりすることが、励みになる)
- ⑤学校で使う道具・持ち物の準備・点検の習慣を身につける。(忘れ物はしない)

その3 努力を認め、励ましましょう！

- ①「良くできたね」「ていねいに書けたね」「大きな声で読めたね」など、子どものがんばりを認める言葉がけを行う。(「どうしてもできないの」などの声かけは、逆効果)
- ②「この問題、わからない」と言うとき、「教科書を持ってきてごらん」「この方法で解けそうだよ」と、子どもの努力に力を貸してください。やってみて、まだ迷うときは、「明日、先生に聞いてごらん」と、アドバイスをしてください。
- ③物事をやり遂げるという成功体験を積ませることで、子どもに意欲と自信を持たせる。

その4 子どもとたくさん対話をしましょう！

- ①学校の出来事を聞き、子どもが、学校でがんばっていることや困っていることを理解する。
- ②新聞記事やニュースなどを話題にして、社会への関心を広げる。
- ③自分の夢をさがしたり、それを実現するための方法について、アドバイスをする。



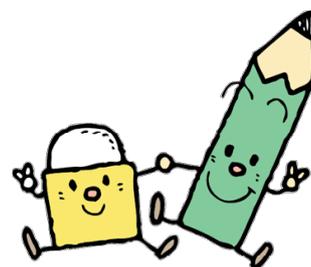
家庭学習の手引き (保護者用)

1 家庭学習のさせ方

- ①毎日必ず机に向かわせてください。「机に向かう」という習慣が大切です。
- ②「宿題」を最初にさせてください。
- ③自主学習は、「家庭学習の手引き」を参考にしてさせてください。
(5・6年生には自分で考えさせてもよいでしょう。)
- ④勉強が終わったら、次の日の準備をさせてください。

2 時間のめやす

- ・低学年20分から30分以上
- ・中学年40分から50分以上
- ・高学年60分から70分以上



3 家庭学習における保護者の役割

①学習時間の確保

塾、習いごと、スポーツなど、子どもたちもいろいろ忙しいと思いますが、短い時間でも、「毎日必ず机に向かう」習慣を身につけさせましょう。帰宅後の生活時間について、お子さんとよく話し合い、その中で、「何時から何時まで勉強する」という時間設定をしてください。毎日続けられるように、くれぐれも、無理のない時間設定にしてください。

②学ぶための環境づくり

テレビをつけながら勉強をしても、効果は上がりません。お子さんが落ち着いた学習環境で学習できるように、「まずは、安心・集中して学べる環境作りを・・・」の資料を参考にして、各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。

③見届け・励まし

お子さんが学習したことにできるだけ目を通し、声をかけたり、褒めたり励ましたりしてやることで、お子さんは、どんどんやる気を出します。1週間に1回は、コメントを書いてあげたり、励ましシールを貼ってあげたりなどの見届けをお願いします。また、お子さんの様子を把握しながら、必要に応じて一緒に取り組んでくださることも、大きな励みになります。

④学校との連携

学校から持ち帰ったプリントやテスト、時には学習ノートなどにも、目を通してくださるようお願いいたします。お子さんのがんばりやつまずきがわかり、適切なアドバイスができます。お子さんの学習の様子で気がかりなことがありましたら、どんな小さなことでも、担任にお知らせください。

がく かてい学しゅうのてびき

ねんよう
1・2年用

1年生～はじめに机に向かおう！～

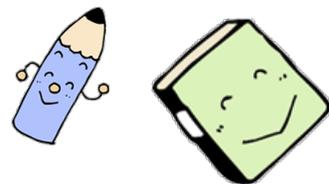
何もかも知りたい、できるようになりたい気持ちでいっぱいの時期です。家庭での学習は、家庭の手助けが全面的に必要です。

2年生～毎日机に向かおう！～

「やったね」「よくできたね」のほめ言葉がやる気につながります。家庭での学習は、家族の手助けがまだ必要です。音読や計算カードの読み上げの練習は、お家の人も、ぜひ聞いてあげてください。

1 かてい学しゅうをするときには・・・

- ①つくえの上とまわりをきれいにしましょう。
- ②テレビをけして、学しゅうしましょう。
- ③はじめに、学校のしゅくだいをやりましょう。
- ④じしゅ学しゅうは、2からえらんでやりましょう。
- ⑤学しゅうがおわったら、学しゅうよていひょうやれんらくちょうを見て、あすの学校のじゅんびをしましょう。



2 しゅくだいのほかに、こんな学しゅうをしてみましよう。

- ①きょうかしょの文しょうを、はっきりした声で、「、」「。」に気をつけて、読めるようにれんしゅうしましょう。
- ②きょうかしょの文しょうで、こころにのこったところやすきなところを、ていねいにかきうつしてみましよう。
- ③文字（ひらがな・カタカナ・かん字）は、お手本をよく見て、かきじゅんや「とめ」「はね」「はらい」に気をつけてれんしゅうしましょう。
- ④につきをかいてみましよう。できごとをよくおもいだしてかきましよう。
- ⑤本をたくさんよみましよう。よみおわったら、ほんのだいめい、かいた人、おもったことをみじかくかいておくといいいですね。
- ⑥さんすうは、きょうかしょやプリント、ドリルのもんだい、けいさんカードのよみあげを、くりかえしやってみましよう。
- ⑦まちがったもんだいを、もういちどやりなおましよう。
- ⑧おうちの人と、とけいのよみかたのれんしゅうをましよう。

かていがくしゅう
家庭学習のてびき 3・4年用

3年生～新しい学習にも挑戦しよう！～

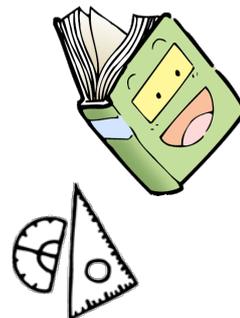
社会、理科、総合的な学習の時間がはじまる3年生。国語や算数の学習では「急に難しくなった」と感じるが多くなる時期です。国語・算数・社会・理科の学習の復習に力を入れることで、自信をもてるようになります。

4年生～調べ学習にも挑戦しよう！～

相手に伝わるように、積極的に「話す」「書く」ことが大切になる時期です。学習で疑問に思ったこと、興味のあることを調べ、誰が見てもわかりやすくまとめることで論理的な思考が身につきます。

1 毎日、家庭学習をしよう！ 学力アップは、規則正しい生活から！

- ①早ね・早起き・朝ご飯・はい便を。
- ②自分から声を出して、周りの人にあいさつをしよう。
- ③たくさん本を読もう。
- ④ニュースに関心を持ち、新聞を読んでみよう。
- ⑤本や辞書、事典、インターネットなどで調べよう。
- ⑥家の手伝いを、毎日進んでやろう。
- ⑦学習や用具の準備を、前の日までにしておこう。
- ⑧見通しをもって、用具や学習の準備をしておこう。



2 宿題のほかに、こんな学習をしてみよう！ できるところから！

- | | | | | |
|-----|--------------------------------|-------------|-----------|-----|
| 国語 | ○音読・視写・漢字練習 | ○意味・部首・画数調べ | | |
| | ○漢字の成り立ち調べ | ○漢字集め | ○ことわざ調べ | ○日記 |
| | ○物語・4コマまんがづくり | ○ローマ字の練習 | | |
| 算数 | ○自作問題（計算・文章） | ○ドリル問題 | ○表やグラフの作成 | |
| | ○三角定規、分度器、コンパスを使った作図 | | | |
| 社会 | ○地図記号・都道府県名・県庁所在地調べ | ○地図の作成 | | |
| | ○川・平野・山脈調べ | ○□□ベスト10 | | |
| 理科 | ○実験・観察のまとめ | ○天気・気温調べ | | |
| | ○図かんや事典を使った調べ学習（植物・動物・太陽・月・星座） | | | |
| その他 | ○読書 | | | |
| | ○リコーダーの練習 | | | |

☆学習ノートに記入したことを、もう一度、家庭学習のノートに写す。
☆教科書やプリント、ドリル、テストなどでまちがった問題を、もう一度やり直してみる。

家庭学習のてびき 5・6年用

5年生～計画的に学習しよう！～

外国語や家庭科の学習が始まり、社会や世界に目を向けた学習もします。得意な教科、好きな分野が見つかるとともに、苦手な教科もはっきりしてくる時期です。自発的な行動を認め、自主的に学習に取り組めるような手助けが必要です。

6年生～目標を立て、しっかり学習しよう！～

小学校の学習のまとめとして、中学校へつなげる大切な学年です。「やればできる」という気持ちをもたせ、子どもの自尊感情を育てるようにしましょう。

1 家庭学習の習慣化を！ 学力アップは、規則正しい生活から！

- ①早ね・早起き・朝ご飯・はい便を。
- ②自分から、周りの人にあいさつをしよう。
- ③家庭学習をする時間を決めよう。
- ④たくさん本を読もう。
- ⑤社会の出来事に関心をもち、ニュースや新聞を見よう。
- ⑥新しく発見したことや気になったことは、本や辞書、事典、インターネットなどで調べよう。
- ⑦家の手伝いを、毎日進んでやろう。
- ⑧見通しをもって、用具や学習の準備をしておこう。



2 宿題のほかに、こんな学習をしてみよう！ できるところから！

- 国語 ○音読・視写・漢字練習 ○意味・部首・画数調べ
○漢字の成り立ち調べ ○漢字集め ○ことわざ調べ ○日記
○物語・4コマまんがづくり ○言葉の特徴やきまり
- 算数 ○自作問題（計算・文章・面積） ○ドリル問題
○表やグラフの作成 ○三角定規、分度器、コンパスを使った作図
- 社会 ○農業生産物・水産物・工業製品調べ
○国名・首都調べ ○日本地図・世界地図の作成
○都道府県・県庁所在地調べ ○歴史人物調べ
- 理科 ○実験・観察のまとめ ○天気・気温調べ
○図鑑や事典を使った調べ学習（植物・動物・太陽・月・星座）
- その他 ○読書・新聞 ○リコーダーの練習
- ☆学習ノートに記入したことを、もう一度、家庭学習のノートに写す。
☆教科書やプリント、ドリル、テストなどでまちがった問題を、もう一度やり直す。
☆次に学習するところの教科書を読んだり、わからない言葉を調べたりする。